

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する事項

該当事項はありません。

2. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
器具備品及びソフトウェア・・・定額法によっている。
- (3) 消費税の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	49,310,382	41,794		49,352,176
小 計	49,310,382	41,794		49,352,176
特定資産				
投資有価証券	500,777,059	137,391		500,914,450
助成事業引当資産	26,004,010		2,587,875	23,416,135
特定資産定期預金	10,000,000	2,587,875		12,587,875
小 計	536,781,069	2,725,266	2,587,875	536,918,460
合 計	586,091,451	2,767,060	2,587,875	586,270,636

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	49,352,176	(49,352,176)	(-)	(-)
小 計	49,352,176	(49,352,176)	(-)	(-)
特定資産				
投資有価証券	500,914,450	(498,914,450)	(2,000,000)	(-)
助成事業引当資産	23,416,135	(23,416,135)	(-)	(-)
特定定期預金	12,587,875	(12,587,875)	(-)	(-)
小 計	536,918,460	(534,918,460)	(2,000,000)	(-)
合 計	586,270,636	(584,270,636)	(2,000,000)	(-)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
メダル刻印原型	300,000	299,999	1
ソフトウェア	386,400	360,640	25,760
合 計	686,400	660,639	25,761

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。
(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
第122回20年国債	49,352,176	57,355,000	8,002,824
第483回関西電力社債	99,876,322	103,010,000	3,133,678
第34回三菱東京UFJ銀行社債	100,000,000	100,994,700	994,700
日本生命2011基金社債	2,000,000	2,017,800	17,800
第25回三菱東京UFJ銀行社債 (劣後特約付)	99,798,516	104,942,000	5,143,484
第61回利付国債 (20年)	99,503,763	105,850,000	6,346,237
第120回利付国債 (20年)	99,735,849	111,914,000	12,178,151
合 計	550,266,626	586,083,500	35,816,874

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。
(単位：円)

内 容	金 額
基本財産運用益の振替額	900,000
特定資産運用益の振替額	6,184,699
合 計	7,084,699